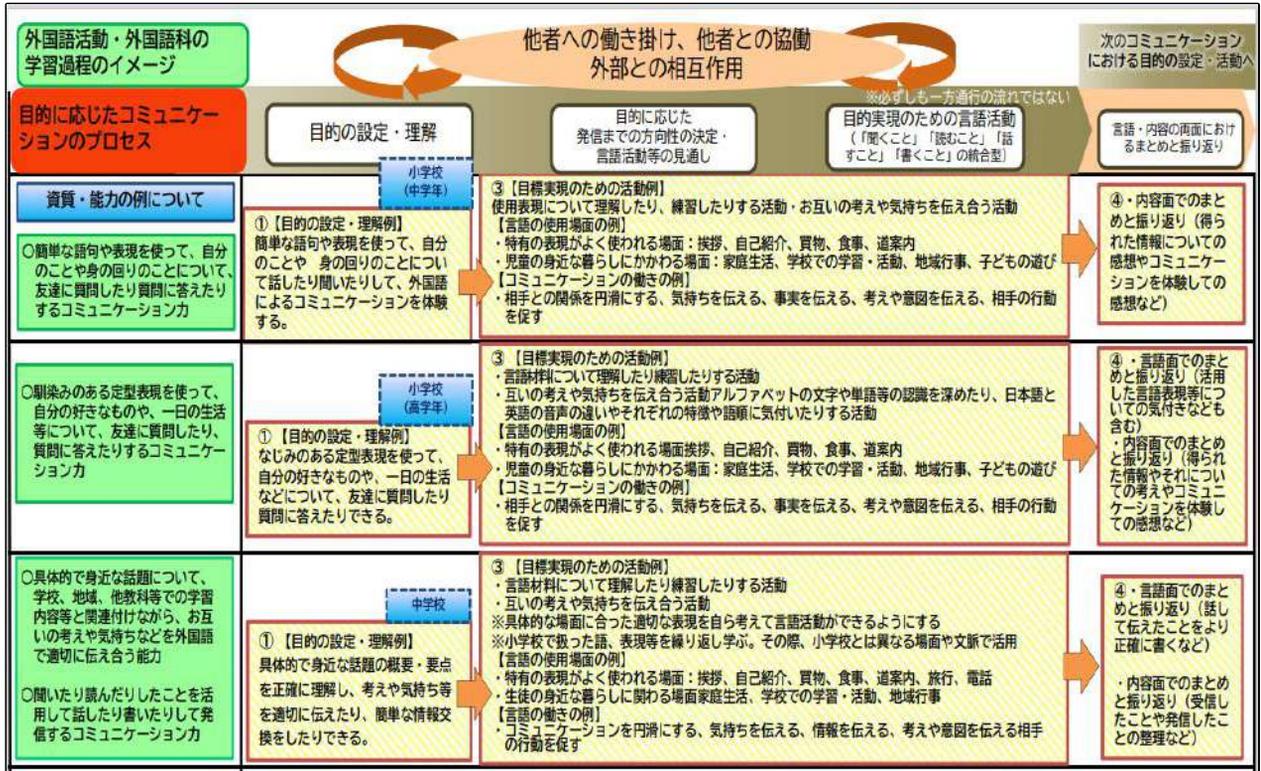


外国語活動



(参考資料) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)別添資料



学年・題材名：小学校4年・Unit7 What do you want?

見方・考え方：小学生が欲しいクリスマスプレゼントは何かをALTに教えるために、友達同士でクリスマスに欲しいプレゼントについて伝え合いながら、自分の考えや表現を再構築する。

ICTの活用：クラウド上のアンケートアプリを個に応じた学習に活用する。児童は、言いたいけれどうまく言えなかった表現を共有することで、やり取りに必要な表現に慣れ親しむ。さらにWeb会議システムを活用し、他校の児童とやり取りをする。

学習場面：慣れ親しんできた表現を使い、友達に質問したり質問に答えたりする。

設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する

JTEとALTのSmall Talkを聞き、日本の小学生が「クリスマスプレゼントとして何が欲しいのか？」をALTが知りたがっているという、コミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する。続けてクリスマスに欲しいものランキングを作って、ALTに教えたいという願いをもつ。



目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う児童はお互いに欲しいプレゼントを聞き合うために、What do you want? I want ~.などの表現を使って、1回目の言語活動を行う。中間指導でクラウドを活用し選択式のアンケート結果から、言えなかったり難しくて発音できなかったりする語句や表現を共有し、ALTの発音を聞いて繰り返し練習する。また、個々に練習する時間を設け、1人1台端末でデジタル教材の音声を聞くなど、自分に必要な語句や表現を十分に練習した上で、2回目の言語活動を行う。



Web会議システムで、近隣の小学校4年生と同じ課題で学習の場を設定し、より多くの児童に質問し、情報を集めて説得力のあるランキングにしていく。

ALTがランキングの結果を見て喜んでいる姿から、児童は外国語でコミュニケーションを行う楽しさやICT活用が目的達成のために有効であることに気付いていく。



本事例のポイント

- ・クラウド上のアンケートアプリで児童の考えを瞬時に把握し共有することで、やり取りに必要な表現に慣れ親しむ場面を設定できる。
- ・Web会議システムを活用することで、様々な相手と互いの考えや気持ちを伝え合い、コミュニケーションを図ることの楽しさを体験することができる。